

2018.3.12 千葉地本・水戸地本(原ノ町班)主催

南相馬市内中学校 花を届ける取り組み



千葉から希望(ガーベラ)を届けてきました！！

3月12日、南相馬市内の中学校の卒業生にガーベラを届ける取り組みを行いました。水戸地本原ノ町班の仲間と共に、花言葉で「希望」という意味のガーベラの花を、原発事故や津波の影響で今も苦しんでいる生徒に、心の復興への気持ちを込めて卒業生に花を届けてきました。

校長先生からは、「津波によって親御さんを亡くし、今も苦しんでいる生徒も多くいる。」「去年まで他校の土地を間借りしていたが、今年から元の場所に戻り授業を再開する事ができた。」「鉄道がつながるとみんなが元気になる。復興のシンボルとして早くつながって欲しい。」と、今も苦しむ現地の現実を知ることが出来ました。

参加者からは、「現地に来て現実がわかった」「今も苦しむ現地の人たちのために、これからも俺たちが出来ることをやっていかないといけない。」などの感想が挙がり、今も苦しい現実を変えていくためにも、改めて脱原発を進めていくということを参加者全員で確認し終了しました。

**皆の想いは「笑顔あふれる日常を取りもどす」
ことです！地本の壁を越えて心一つに頑張ろう！**